

西原村議会だより【ゆうすい】

第118号 令和2年8月6日発行



Yûsui

NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI



No.118
2020.8.6

CONTENTS

- ◆ 6月定例会／P2～3
- ◆ 令和二年度一般会計予算執行状況
六六億六、五七四万円
総額一〇八億九四万円に
- ◆ 主な歳出から／工事請負関連
- ◆ 議案決議他報告・承認／P4～5
- ◆ 報告・承認議案ピックアップ
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策!!
- ◆ 一般質問／P6～8
- ◆ 地元の映像を残す事業について／新型コロナウイルスによる変化する教育環境の状況について
- ◆ コロナによる教育スケジュール及びタブレット使用について／インストラクターの活用とナイター無料開放で活力を
- ◆ 本村の避難所での新型コロナウイルス対策は？／小中学校及び避難所での新型コロナウイルス対策は？
- ◆ 視察他報告／P9
- ◆ 公共育成牧場跡地利用対策特別委員会視察《有限会社駒城貸付分の視察》／村有財産公売／教育委員の任命
- ◆ 復興工事進捗状況／P10
- ◆ 各集落の工事進捗状況
- ◆ よっていきなっせ／P11
- ◆ 村議会議員になってみませんか!!
- ◆ 職場からこんにちは・編集後記／P12

西原の暮らしを守る!!

ちっちゃな可愛い
豆消防士さん達!!



幼年消防クラブ結成式(にしはら保育園)

6月17日に開催!! 年長組(ふじ/20名、さくら/15名)による幼年消防クラブです。

新年度まずはコロナ対策!!

令和2年度の 一般会計予算執行状況



- ◆令和元年度からの一般会計継続繰越費……………6億円
 - ◆令和元年度からの一般会計繰越明許費…19億6,547万円
 - ◆令和元年度からの事故繰越し計算書費…15億6,973万円
- ※事故繰越については、P5の下部の説明文を参照。
- ◆令和2年度一般会計補正後、予算 66億6,574万円
(8億9,231万円の増額補正)

6月9日から12日までの4日間の会期で開催された。令和元年度一般会計の継続費繰越計算書・繰越明許費計算書・事故繰越し計算書3件の報告、令和2年度一般会計補正予算他議案14件・承認6件・同意1件を審議し全て可決承認した。11日には3名が一般質問を行い、主にコロナ関連で村政を質した。また、初日には村長より次期村長選への正式出馬表明があった。

主な歳出

- ★プレミアム商品券関連……………3,816万円
- ★木造仮設住宅改修工事……………5,400万円
- ★里芋選果機導入事業……………2,322万円
- ★地域福祉センター空調機更新工事……756万円
- ★予備費……………4,552万円

※令和2年度一般会計補正後の予算額66億6,574万円
+令和元年度からの繰越等の総額を加えた予算

総額108億94万円の予算計画

(万円以下切り捨て)

一般会計補正予算から 質疑応答

【問】語り部育成事業委託料について内容を。

【復興建設課長】復興ガイドテキストを作成し勉強会を数回行い、できれば村外の視察研修を行って、集落ごとにガイドを設けたい。人材は整いつつあるが、決まっていない集落もある。

【問】避難所備蓄用感染対策関連購入費とはコロナ対策か。

【総務課長】避難所において新型コロナウイルス感染症予防対策として備品・消耗品の購入代になる。

【問】新型コロナで臨時休校となつた期間の会計年度職員等に対する給与補償は無いと聞いた。しかし、調べてみると「休業要請した者に対しては労働基準法が適用され、その6割が支払われる」と書いてあった。西原村の対応はどうなのか。

【総務課長】熊本県庁に確認した。各自治体も休業要請した期間は本来もらうべき勤務に同じで相当する6割を補償すると言ふことなので、本村においても対象職員に休業補償をする。

【問】のぎく荘の空調機更新工事だが対応が遅く感じる。利用者は大半が高齢者なので、早め

の対応が必要と思うが。
【住民福祉課長】今回の事業で全体の1/3程度の修理になる。今後は故障してからではなく、年次計画で改修していく。総額の積算もお願いしてある。



【問】のぎく荘は、築27年経過しており抜本的な取り組みが必要では。

【村長】日々利用されているので休業はできない。団塊の世代問題もあり、高齢者増は確実だ。増設・増築で対応していきたい。検討委員会等を立ち上げ計画していく。



1/3程度は改修される空調設備



【問】移住支援事業200万円について、内容と村内でもPRし広めべきと思うが見解を。

【企画商工課長】この事業は東京23区に在住で、5年以上居住または勤務されている方が対象だ。県のマッチングサイトを活用し就職された方への新しい事業支援金である。元住民で現関東

圏5年以上在住の方も対象になるので村のホームページにも掲載したい。



【問】震災から集落再生も進み住宅環境整備が整いつつある。「空地バンク」も村のホームページに掲載しているが問い合わせの状況は。

【村長】移住して頂くのは嬉しい話だがまだ進んでいない。現在のPR動画作成を委託しているが、校正の変更で遅れている。本来は空地バンクで村を知って頂くための動画なので、西原村は空港にも近く熊本市へのアクセスも良い住みやすい村。また、自然豊かな環境の良い村等観光面を含めて村の良さを紹介していきたい。



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策!!

【承認第6号】

専決処分の報告及び承認について 《専第6号》

令和2年度西原村一般会計補正予算(第1号)

*新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

感染予防具等緊急的な購入や村内の小中学校における長期的な臨時休校に伴い、児童・生徒への学習意欲向上や家庭学習支援として

図書カード購入費 304万円



児童生徒に一人5,000円の図書カード配布

【承認第7号】

専決処分の報告及び承認について 《専第7号》

《専第7号》

令和2年度西原村一般会計補正予算(第2号)

*新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

自主的に休業した村内事業者の事業継続支援として

休業支援

給付金800万円



一事業者につき100,000円給付



【承認第8号】

専決処分の報告及び承認について 《専第8号》

令和2年度西原村一般会計補正予算(第3号)

*政府の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

家計への支援を行う特別定額給付金事業の実施及び政府の新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活を支援する取組として

特別定額給付費 6億8,057万円

児童福祉総務費 1,101万円

(子育て世帯への臨時特別給付金)



村民一人につき100,000円給付



報告・承認議案ピックアップ

【報告第1号】

令和元年度西原村一般会計継続費 繰越計算書の報告について

*特定地区公園事業のうち総合体育館建設事業

総額20億2,791万円

その内令和元年度6億円を令和2年度へ繰越
進捗率3%



総合体育館建設着工

【報告第2号】

令和元年度西原村一般会計繰越 明許費繰越計算書の報告について



着工を待つ中学校・小学校の防災機能を兼ねた
屋外防災施設トイレ

《主な事業》

- ◆木造仮設住宅利活用事業……………1,382万円
- ◆被災農業者農舎等復旧支援事業…5,896万円
- ◆宅地耐震化推進事業 ……12億8,753万円
- ◆山西小学校防災機能強化事業……3,350万円
- ◆西原中学校防災機能強化事業……3,350万円
- ◆村指定文化財保存管理事業(熊本地震)…4,872万円
- ◆現年度農地等災害復旧事業 ……5,500万円

翌年度繰越合計

19億6,547万円

【報告第3号】

令和元年度西原村一般会計事故繰越し繰越 計算書の報告について

*土木費1件 災害復旧費1件 計2件 **繰越合計額15億6,973万円**

土木費 宅地耐震化推進事業 15億1,617万円

災害復旧費 過年度道路橋りょう災害復旧費 5,356万円

継続費とは？ (報告第1号)

2ヵ年度以上にわたる事業等を実行するにあたり、支出すべき総額及び年度割についてあらかじめ議会の議決を経て数年度に渡って支出することが可能となった経費をいいます。

繰越明許とは？ (報告第2号)

何らかの事由により、当該年度に支出が終わらない見込みのもの、又は予算成立後の事由等により年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を経て、翌年度に繰り越して使用できる制度をいいます。

事故繰越とは？ (報告第3号)

予算成立後に発生した避けがたい事事情により、年度内に事業が完了しなくなった場合に予算を翌年度に繰り越して使用できる制度をいいます。

Questions

西口 義充 議員

一般質問

地元の映像を残す事業について

村長・企画課長／非常に大切にドローンによる撮影動画などを検討!!

新型コロナウイルスによる変化する教育環境の状況について

教育長／弊害に対し、少人数指導等の細やかな指導、支援を実施していく!!

地元の映像を残す事業について

【西口】震災以降の本村の記録を残すことは大事だと思う。各集落も減少していくのではないかと危惧している。

今現在、西原村の各集落の映像を残すことで後世に伝えていく事業はできないか。

【村長】本村も高齢化が進んでおり限界集落もあり、大変危惧され、過去・現在の西原村の状況と景観を、後世に語り継いでいくのは、非常に大切なことで、今を生きる私たちの務めであると思う。消滅の有無にかかわらず検討する必要がある。

【企画課長】震災の状況や復興までの歩み、映画「西原村」や、村のPR動画など、またドローンによる撮影動画を作る事で、検討していく。

【西口】この3か月、①生徒への学習支援、教育の取り組みに弊害はなかったか。②生



【西口】受験を控えている生徒への支援策はあるのか。
ICTを活用し、進めていく中でWiFi環境が整っていない場合の支援策はどの様に考えているのか。
【教育長】臨時休校期間中の5

新型コロナウイルスによる変化する教育環境の状況について

徒の健康状態、家庭環境によって心の変化はなかったのか。③今後の学習の遅れをどの様に取り戻していくのか。

【教育長】ほぼ全ての教育活動、学習活動に弊害があったことを認識している。

①学習プリントによる補習と二斉メールによる生活面のチェック。
②小学校 安全安心メールによるチェック、対応できなかった家庭への家庭訪問や電話連絡等。中学校 家庭学習に不安がある生徒への電話連絡、家庭訪問等。

③学校再開後 学習に不安な児童生徒への別途個別補習や細やかな指導、支援の実施。

村道の拡張及び事故防止について

【西口】平成24年度から下新所3号線の拡幅を要望しており、測量設計、用地測量に着手した

【西口】新所岩坂線、空港北側へ抜ける大津南部農道の交差点の事故防止対策を、大津町へお願いできないか。

【村長】大津町の管轄でありませんが、使用されますのは殆どが西原村の住民と想定されますので、大津町に向いて注意喚起や減速ができるような対策を、お願いしたい。



大津南部農道の交差点

が地震となり一時中断された。今後のスケジュールは。

【村長】令和2年度の当初予算で用地修正測量として358万円を計上している。現在用地測量の発注の準備を進めている。今後は、用地測量を経て、今年度の8月議会で用地費の計上を考えている。用地交渉が終わり次第、令和3年度を目標に工事に着手する予定である。



中西 義信 議員

一般質問

教育スケジュール について

【中西】新型コロナウイルス感染症により休校になり、つい先日
から授業がやっと始まり活気を
感じてきた。授業や受験もある
が子ども達が楽しみにしていた
部活動大会・運動会・修学旅行
等もある。今後の取り組みとス
ケジュールはどうか。

また、コロナ休校期間の支援
員の方々への対応はどうだったか
【村長】5月25日付けで文科省
からの通知に沿って本村でも学
校再開ガイドラインを策定した。
新型コロナウイルスが感染拡大
しないような学校生活を実践し
ながら、地域の感染拡大状況と
照らし合わせ、学校教育の計画
を見直し実践・評価・改善してい
く。

【教育長】3学期制を維持する。
夏休みは16日間に、冬休みも10
日間に短縮し授業時間の確保に
努めたい。土曜授業についても前
向きに検討していく。運動会は
10月に、修学旅行も延期状態だ

が実施したい。各種大会は類似
した大会が出来ればと考えている。
次年度に持ち越せない小6・
中3年生については工夫が必要
で郡市内単位で取り組んでいく。
この間の学習生活支援員への
対応だが休校期間中は、病院や
保育園関係者等、子ども達の様
子が見れないご家庭が多々あり
その対応に当たって頂いた。

タブレットについて

【中西】国の補正予算を活用し
全児童生徒に対応できないか。
また先行町村では、情報機器の
不具合が生じたと聞く。慎重か
つ前向きな取り組みを。

【教育長】子ども達に情報教育
を浸透させるのが目的だ。リアル
教育とオンライン教育をどのよ
うに結び付けるかが非常に大き
な課題だ。日本の学校教育で培っ
てきた道徳や特別活動等が薄れ
ないよう、点数では測れない能力
(非認知能力)例えばコミュニケーション能力
が育まれないなどを危

惧している。

1人1台の情報端末は考えて
いるが、3種類の提案があり「グ
ーグル Classroom」
が堪能な職員
もいるので検討
している。河原
小で一部始めた。



インストラクター の活用とナイター 無料開放について

【中西】新型コロナウイルスは異常事態
だ。タブレットも含めて情報端
末の導入をした場合、先生方の
負担も増えるのではないか。新
たに募集中の地域おこし協力
隊員や外部人材の予算を増額
すべきではないか。子ども達や
保護者のストレスを考えると、
村民グラウンドのナイター無料
開放等をやれないか。
【教育長】過去2年間外部人材

を入れて相談しながら情報教育
をやってきた。今後も探求学習
等含めて新たな構築を考えてい
きたい。
学校施設の一般利用は、慎重に
いきたい。ナイターの無料開放等
については今までの慣習もある。
子ども達や地域の方々の体力低
下も見受けられる。活力の低下
を運動で活発にするのはいい提
案で検討したい。



ナイター無料開放望むグラウンド

コロナによる教育スケジュール及びタブレット使用について

村長・教育長／学校再開ガイドラインを策定・情報教育の浸透が目的。

インストラクターの活用とナイター無料開放で活力を

教育長／外部人材と連携し探求学習等含め検討したい!!



General Questions

堀田 直孝 議員

一般質問

新型コロナウイルスの相談窓口の設置は？

村 長／各課連携して感染予防に万全を期す!!

小中学校及び避難所での新型コロナウイルス対策は？

教育長・村長／新しい生活様式を取り入れ、三密を守る!!

新型コロナウイルスの相談窓口の設置は？

【堀田】国内でも緊急事態宣言は解除されたが、海外では既に第2波が発生しているなか、本村では新型コロナウイルス感染症の発生当初よりホームページ等により感染拡大防止、発生状況、支援体制等広報がなされていたが、感染に関する相談窓口は熊本県への外部リンクで5月20日によく熊本県新型コロナウイルスセンターが開設された。しかしながら、村民の皆さんが「ひよこ」として自分が感染？」など不安を感じた時に気軽に相談できる電話窓口を役場に設置できないか？

【村長】村として今のところ相談窓口としては設置していない。今後も全国及び熊本県内の発生状況を注視しながら第2波、第3波を防ぐため、相談窓口を開設するとともに感染予防と啓発運動に取り組む。

小中学校での対策は？

【堀田】北九州市の小学校ではクラスターが発生したが、本村でも小中学校の再開にあたり、児童生徒への感染予防教育はどの様に指導されているのか？

【教育長】常時マスク着用の徹底、友達同士重ならないなどは引き続き行い、ウイルス力価を下げ、ウイルスの数ができるだけ少ない



ソーシャルディスタンスを保った授業

避難所での対策は？

ような環境を作るといふ新しい生活様式を取り入れる工夫を行う。万が一子どもが罹患した場合、差別を生み出すことのないよう、これは絶対してはいけないこととして指導していく。

【堀田】梅雨に入り大雨による災害が発生しやすい季節を迎え、各自治体ではコロナ対策を避難所で実践、工夫が行われているが、本村での避難所運営の対策は如何か。

【村長】三密を避けなければならぬこの時期に災害が発生した場合の避難所対策は大変心配している。避難所を開設するにあたり三密を踏まえ関係各課連携を密にして感染予防対策に万全を期すよう指示した。

【堀田】今年は、コロナ対策で行政も精いっぱいだが、災害への備えは必要であり、補正予算では避難所の感染対策費を計上し



熊本地震時における三密が心配される避難所

であるが、指定避難所の収容人数は感染予防のため、かなり少なくなるが、どのような対応をされるのか？

【村長】避難所衛生対策として各避難所にマスクや消毒液を配置。避難所での体温、問診による健康状態の確認、十分な換気の実施、居住スペースの確保、体調の悪い避難者の専用スペースの確保、安全な親戚、知人宅への避難の呼び掛けを行う。



公共育成牧場跡地利用対策特別委員会

駒城視察

有限会社駒城貸付分を3月に視察を行った。契約期間が後、約3年半になり今後の契約も気になる所である。牧場の管理は、畜舎内外ともきれいに整備されていた。



環境整備された中ですくすく育った馬たち

村公有財産公売へ

これまで廃棄されていた村公有財産（備品）が公売され有効活用されることに。

《公有財産公売とは》

公有財産公売は、行政機関が所有している財産を、地方自治法などにのっとり売却する手続きの一部です。公有財産売却で落札された物件の売却代金は、村の歳入になります。



公売にかかる備品

《教育委員の任命》

教・育・委・員 《加藤 みな子》



このたび、教育委員に再任されました加藤です。生まれ育った西原村で子ども達の成長にたずさわれる事を大変光栄に思います。

大自然の潤い溢れるふるさとにて、子ども達が学び、未来をたくましく生き抜く知恵や豊かな心を持てるよう、私も微力ではありますが、西原村の教育充実・発展のために力を尽くしてまいりたいと存じます。

どうぞよろしくお願い致します。

震災復興 見えてきた!!

熊本地震により大きく被災した
6集落も地震後4年3ヶ月経ち、
新しい集落が見えてきた。
各集落の工事進捗状況(7月末)
を報告します。

《着工時》

《現在》

大切畑

令和3年2月末
竣工予定



■進捗率/約80%

■残工事/

水道管付設工

道路側溝・舗装工

古閑

11月末
竣工予定



■進捗率/約75%

■残工事/

擁壁工・水道管付設工

道路側溝・舗装工

風当

9月末竣工予定



■進捗率/約80%

■残工事/

擁壁工・水道管付設工

道路側溝・舗装工

畑

9月末竣工予定



■進捗率/約80%

■残工事/

擁壁工・水道管付設工

道路側溝・舗装工

下小森

3月末竣工



■進捗率/100%

下布田

令和3年2月
竣工予定



■進捗率/約65%

■残工事/

擁壁工・水道管付設工

道路側溝・舗装工

上布田

8月末竣工予定



■進捗率/約90%

■残工事/

道路側溝・舗装工



よって
YOTTE IKINASSE
いきなっせ
西原村発信

村議会議員になってみませんか!!

西原村議会議長 宮田勝則

西原村議会議員になって 住みよい村づくりを進めませんか

現在、全国的な傾向になっていますが、地方議会は「なり手不足」という深刻な課題に直面しています。本村でも同様な傾向になっていくのではと不安に思う方々が多くなっていませんか。

そこで、住民の皆さんに村議会と議員の仕事を知って頂きたいと一部を紹介していきます。

1.議案審議での議決権

執行部提出議案には条例の制定や改正、年度当初予算、補正予算審議、決算承認、特別職等人事案件の承認諮問などがあります。

2.請願・陳情の審査議決

集落や住民団体、各種団体から村や国への要望が書面で村議会へ提出されます。その後、議会で審議され議決し処理されます。（※陳情については全てが議会で審議されることではありません。事前に議会運営委員会で処理方法が決定されます。）

3.一般質問

各議員が村行政を住民にとってより良い方向へ導くことを目的に行われています。

議員は質問の趣旨・内容を事前通告することで行政の考え方、答弁の中身が深まるようにします。

4.議員提出議案（発議）の審議

議員発議は、議会において議事の対象となる問題を議員が提出することです。

5.各種委員会活動

議員は2つの常任委員会【総務福祉常任委員会、産業教育常任委員会】を柱にどちらかの委員会に所属することになります。また議会運営委員会と特別委員会（広報調査委員会、企業誘致委員会、河原校区活性化対策委員会など5つの委員会）に定数があり所属し、課題の調査研究をすることで、村の発展や住民生活サービス向上に寄与していくことになります。

6.広域行政組合

3つの広域行政組合議会と1つの県内広域連合議会にそれぞれの議員を出しています。

以上のように議員の活動は多岐にわたる事になっています。

さて、住民の方々は、議員になると大変、子育てで暇がないとか、報酬がとか、会社がね〜とか様々な事情により考えられない方も多くおられると思います。まずは、村の政治に興味を持っていただくことから始まりで、議員と行政について話をすることや、住民自治活動や各種団体の活動へ積極的に参加頂きたい。そこから始まっていくと期待しています。



議会風景



がんばろう!! 職場から SHOKUBA KARA KONNICHIIWA こんにちは

このコーナーでは、
西原村活性化のため、
村内の事業所を今後も
紹介して参ります。



甘藷・米・里芋 栽培 石川 貴将さん

就農時の経営規模／甘藷110a・里芋20a・水稻30a
現在の経営規模／甘藷140a・里芋25a・水稻30a

就農して今年で4年目を迎えます。沖縄生まれの私が西原村で就農するきっかけになったのは、平成28年に起きた熊本地震でした。

妻の実家は義母と祖父で農業をしていたのですが、震災の被害を受けたことでこのまま2人で続けていくことが困難だと聞き、2人を手伝う形で就農しました。元々、沖縄の実家でも父が農業をしていたこともあり、幼い頃から父の手伝いをしていたので特に農作業への抵抗はありませんでした。もちろん、沖縄と熊本では仕事の勝手が違うので、初めのうちは慣れない作業に苦労しましたが、義母や祖父の丁寧な指導のおかげで少しずつ出来るが増えてきました。農業は天候に左右される職業なので苦労することが多々ありますが、その分それを乗り越えて良い作物が採れたときや高い値段がついたときの喜びも大きいです。今現在は甘藷をメインに取り組んでいます。

今後は規模を拡大するよりも、独自のブランドの構築や加工品開発、販路の開拓に力を入れることで収益の向上を目指します。

これからも日々学び、楽しみながら西原村で農業を続けていきたいと思います。



里芋・甘藷・馬鈴薯・長ネギ 栽培 田上 直樹さん

就農時の経営規模／里芋10a・甘藷20a・長ネギ10a・馬鈴薯10a
現在の経営規模／里芋30a・甘藷20a・長ネギ10a・馬鈴薯20a

現在、就農して4年目を迎えました。就農する前はサラリーマンとして働いており、その時から西原村に住み始めました。脱サラして農業をやろうと決め、農業大学に通いながら農業生産の技術や経営を学びました。就農してすぐ熊本地震が起き、正直いって大変不安な思いで農業生活がスタートしましたが、地域の皆様や先輩農家の方々にたくさんの助言をいただき、また、たくさんの方に支えてもらったからこそ現在も農業を続けることができていると感じています。

経営に関しては、少量多品種で直売所を中心に販売を行っています。直売をすることで直接お客様の生の声を聞くことができ、日々やりがいを感じています。

特に、里芋に関しては食味の良い品種を数人のグループでブランド化し西原復興ブランド「にしはら里姫」として売り出して好評をいただいているので、さらに販売ルートが増えるよう頑張っています。

まだまだ、経験や知識が足りないことを自覚させられる場面も多いですが、今後も先輩農家の方からアドバイスを受けながら様々な知識を培って、より良い安定した農業経営ができるよう努力していきます。



- 発行責任者**
議長 宮田勝則
- 広報委員**
委員長 坂本隆文
副委員長 中西義信
委員 林田直行
委員 村上高志
委員 堀田直孝

編集後記

令和2年7月豪雨で被災された方、また亡くなられた方々に心より、お悔やみとお見舞い申し上げます。

熊本地震から4年がたちます。あのときの怖かったこと、恐ろしかったことが今でも頭に残っています。今までに味わったことの無いような経験をしました。地震の時は、1日1日前向きに生きてきました。今、また目に見えないウイルスに世界中が脅かされています。本村も人ごとでは無く、身近に感じています。感染拡大により先が見えず皆さん不自由な生活とは思いますが手洗い、うがいをしっかり行い健康管理を心がけてください。

文責／村上高志